

記入例

(宛先) 金沢市長

令和 7 年 10 月 5 日

申請日を記入

(申請者) 住 所 金沢市広坂 1 丁目 1 番 1 号
 氏 名 金沢 太郎
 電 話 番 号 076-220-2111

申請者、奨学金返還者、
口座名義人を同一として
ください。

奨学金返還支援事業補助金交付申請書

奨学金返還支援事業補助金の交付を受けたいので、次のとおり申請します。

申請日時点の年齢を記入

氏名	金沢 太郎		
生年月日	平成12年4月5日	年齢	25 歳

勤務先	かなざわ園		
勤務先所在地	金沢市柿木畠 1 番 1 号		

保証料は含めないでください。

奨学金名称	日本学生支援機構奨学金		
貸与総額	1,440,000 円		
奨学金返還開始日	令和6年10月27日		
奨学金返還終了予定日	令和19年9月27日		

申請にかかる 奨学金返還実績	上期		下期	
	返還月	金額 (円)	返還月	金額 (円)
	4 月	9,230	10 月	9,230
	5 月	9,230	11 月	9,230
	6 月	9,230	12 月	9,230
	7 月	9,230	1 月	9,230
	8 月	9,230	2 月	9,230
	9 月	9,230	3 月	9,230
	返還額計①	55,380	返還額計②	55,380

(上期使用欄) 下期申請時には記入しないでください。なお、下期申請使用欄に続いて
上期申請時にも記入が必要な欄があります。

上期 (4 月～9 月) における上限額② (20,000円×交付要件を満たす月数)	20,000円 × () 月 =	円
上期交付申請額		円
①と③の小さい方の額 ※千円未満切り捨て		円

(下期申請使用欄) 上期申請時には記入しないでください。

上期 (4月～9月) において交付を受けた額④ ※交付を受けなかった場合記入しない		円
--	--	---

④における上限額⑤ ※交付を受けなかった場合記入しない		円
--------------------------------	--	---

下期 (10月～3月) における上限額⑥ (20,000円×交付要件を満たす月数)		円
--	--	---

<交付申請額の積算>

⑦、⑩、⑬、⑯又は⑲のいずれかのうち最大の額を交付申請額とするもの。

※⑦は交付申請をする者全員が記入すること。

⑩、⑬、⑯又は⑲による積算を希望する者は、該当のチェックボックスにチェックを入れて積算を行ってください。

②と⑥の小さい方の額 ※千円未満切り捨て		円
----------------------	--	---

④に額の記載があり、かつ①に記載の額が④を上回る場合

①に記載の額 - ④に記載の額 = 円…⑧

②に記載の額 + ⑧ = 円…⑨

⑥と⑨の小さい方の額⑩ ※千円未満切り捨て		円
-----------------------	--	---

記入不要

奨学金返還開始月が上期期間中であり、かつ①に記載の額が⑤を上回る場合

⑤に記載の額 - ④に記載の額 = 円…⑪

⑥に記載の額 + ⑪ = 円…⑫

②と⑩の小さい方の額⑬ ※千円未満切り捨て		円
-----------------------	--	---

下期に初めて奨学金の返還が開始し、かつ添付書類において上期期間中に補助要件を満たしていることが認められる場合

20,000円 × 上期期間中に補助対象要件を満たしていた月数
= 円…⑭

⑥に記載の額 + ⑭ = 円…⑮

②と⑮の小さい方の額⑯ ※千円未満切り捨て		円
-----------------------	--	---

□ 添付資料において返還計画が変則的であることが認められる場合

⑤に記載の額 - ④に記載の額 = 円…⑰

⑥に記載の額 + ⑭ = 円…⑱

②と⑱の小さい方の額⑲ ※千円未満切り捨て 円

下期交付申請額
※⑦、⑩、⑬、⑯又は⑲に記載のいずれかの
うち最大の額 円

(以下、上期及び下期とも記入が必要です)

奨学金返還支援事業補助金交付申請をするにあたり、以下の事項について間違いのないことを誓約します。

1. 奨学金は自ら返還しています
2. 申請額については、本事業と類似の補助制度の適用はありません。

氏名	金沢 太郎
----	-------

- (添付書類)
1. 雇用証明書(様式第2号)
 2. 奨学金の貸与を証明する書類
 3. 申請にかかる奨学金返還期間中の奨学金返還額がわかる資料
 4. 要綱に掲げる資格要件を満たしていることを証する書類の写し
 5. 住民票の写し
 6. 対象期間における奨学金の返還を証する書類(証明書や通帳)の写し